

あおやましんめいいせき 青山神明遺跡 発掘だより1号

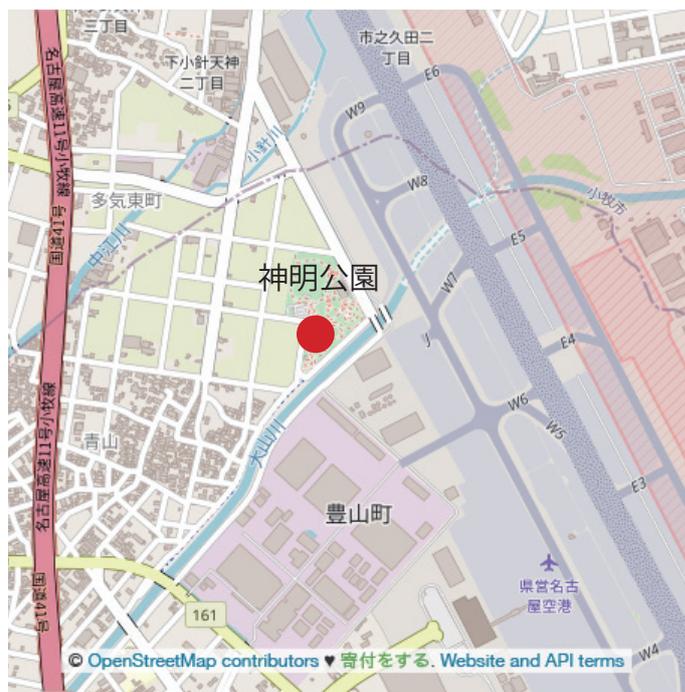
令和6年1月5日発行



◆調査の経緯と経過◆

愛知県では愛知県基幹的広域防災拠点整備等事業を進めております。愛知県埋蔵文化財センターでは、その中の中小河川改良事業(大山川)について愛知県建設局河川課の委託を受けて、本年6月より青山神明遺跡の発掘調査を行ってきました。

現在神明公園南側の23A区の調査が終了しております。23C区は12月中旬まで、23B区は翌年3月中旬にかけて調査を行う予定です(23A区調査成果報告参照)。続報をお待ちください。



青山神明遺跡 23A区 位置図(赤丸)

◆遺跡の概要◆

青山神明遺跡は愛知県西春日井郡豊山町大字青山字神明地内にて確認された遺跡で、『豊山町史』によれば大字青山には旧字稻荷畑地内で銅鏡、旧字北畑地内で縄文土器・石器、旧字居屋敷で土器・石器類が確認されています。

調査の終了している23A区では、主に中世の遺構・遺物が見つかりました。



青山神明遺跡 23A区 全景(北東上空より)

編集



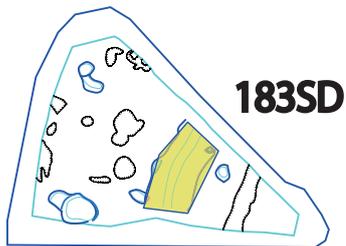
公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター
HP <http://www.maibun.com>
TEL : 0567-67-4163

調査支援

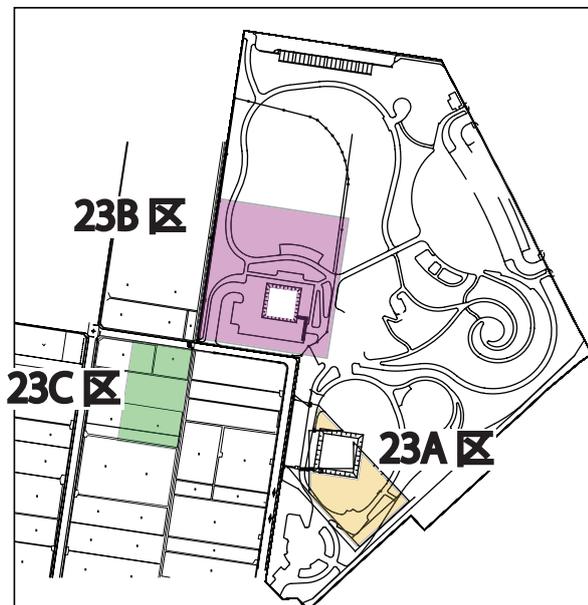


愛知支店 〒462-0012
愛知県名古屋市区北1-1721
TEL 090-6965-2991
(現場代理人 坂本)

青山神明遺跡 23A 区 調査成果報告



183SD



23B 区

23C 区

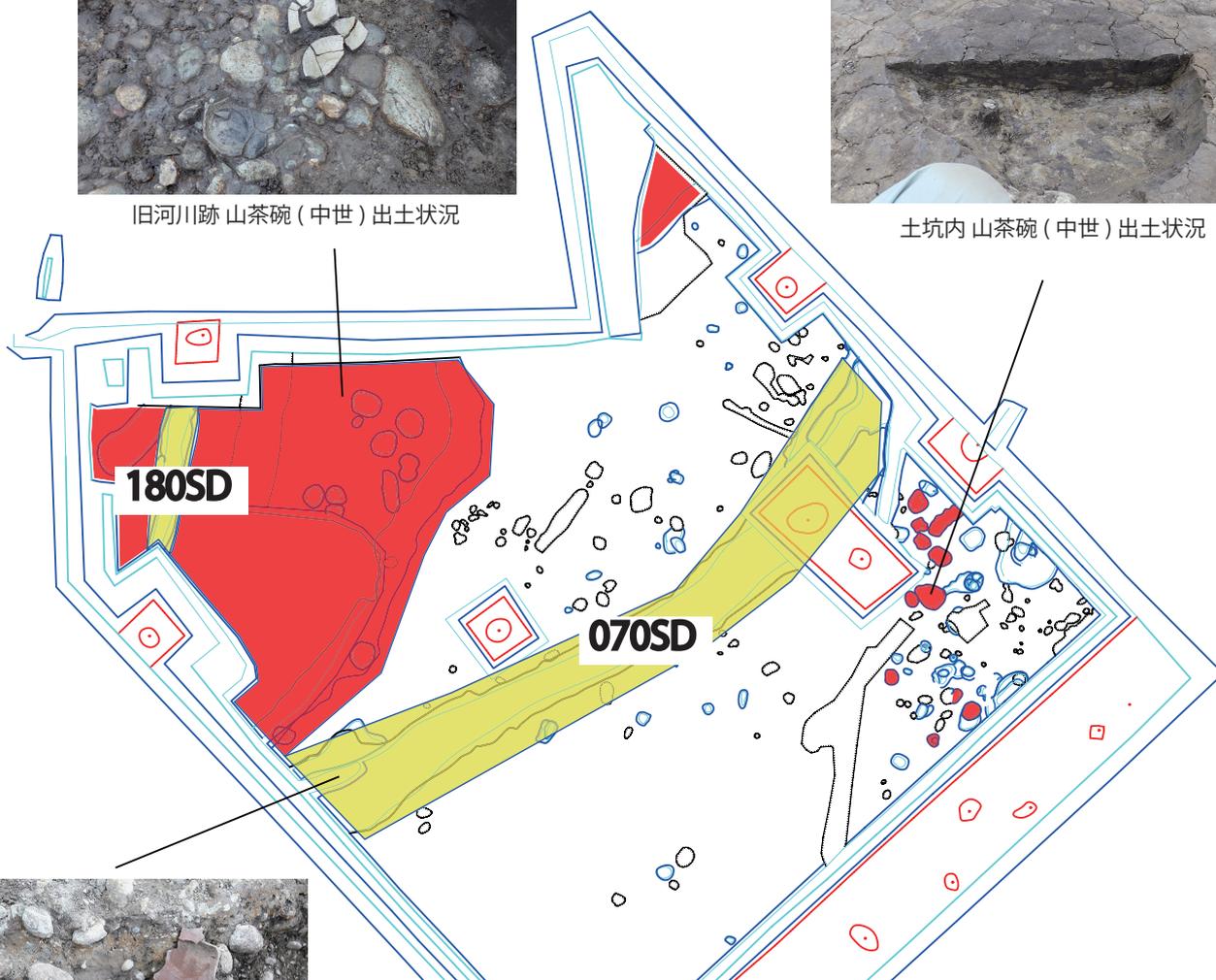
23A 区



旧河川跡 山茶碗 (中世) 出土状況



土坑内 山茶碗 (中世) 出土状況



180SD

070SD



070SD 瓦 (左)・すり鉢 (右)
出土状況

23A 区では、中世と江戸時代後半から近代の 2 時期の遺構や遺物が確認出来ました。調査区の西側で確認された旧河川跡では中世の山茶碗などが出土し、旧河川跡の東岸では大小の土坑が 13 基見つかりました。旧河川跡は北東から南西に流れており、大山川の旧河道跡の可能性が有ります。中世の旧河川跡が埋没した後に、調査区を北東から南西に流れる溝 070SD と、調査区の西側を南北に流れる溝 180SD と溝 183SD が掘り込まれています。これらからは瀬戸・美濃産の碗・皿やすり鉢、瓦などが出土しています。

0 4m

■ : 中世の遺構

■ : 江戸時代～近代の遺構

青山神明遺跡 23A 区 発掘調査写真



23A 区遠景 (北東より)
写真上側に大山川が見えます。



23A 区 測量風景
確認した遺構や遺物は、測量して記録します。



23A 区 全景 (南西上空より)
中央に溝 070SD が中央に見えます。



23A 区 溝 183SD 断面写真
黒い土が落ち込んでいる部分が溝の跡です。



23A 区 遺構掘削風景
夏場は、扇風機と日陰を用意して調査しました。



23A 区 遺構検出状況
黒い土のある部分が、昔の人の痕跡 (遺構) になります。



23A 区 出土遺物を洗ったところ
平安時代から室町時代にかけての陶磁器が見つかりました。



23A 区 遺構断面
半分だけ掘って、遺構の様子や遺物を確認します。